



平成28年度  
西日本ブロックワークショップ

# 信頼を得るためには？

《環境学習を用いた啓蒙活動について》



産業廃棄物処理業経営塾OB会  
成果発表会

平成29年2月24日

# 目 次

---



1. 西日本ブロック紹介
2. はじめに
3. 目 的
4. 実施内容
5. 調査結果
6. 成果報告
7. 再実施
8. まとめ

# 西日本ブロック紹介



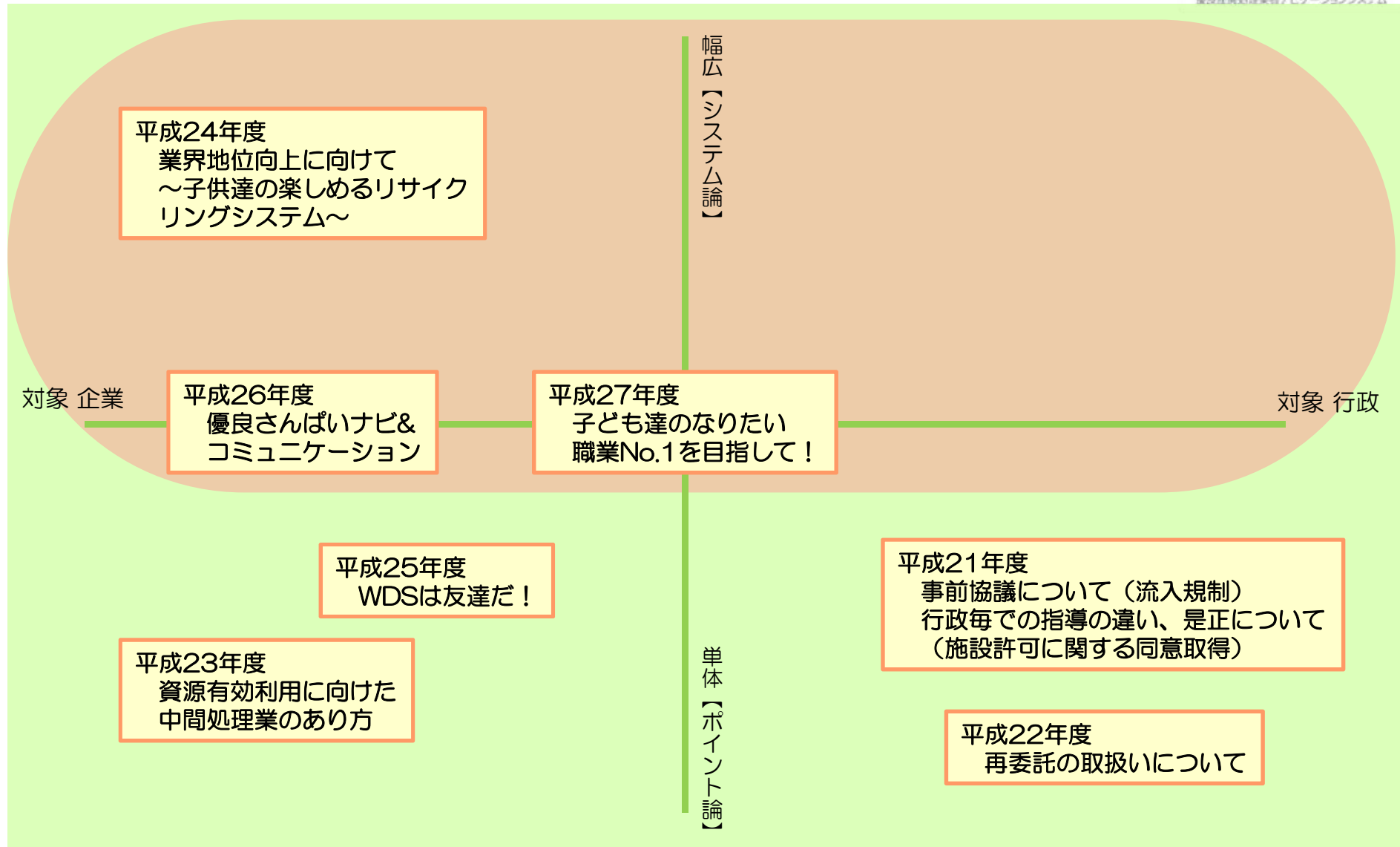
株式会社京都環境保全公社  
株式会社興徳クリーナー  
株式会社県北衛生社  
株式会社国中環境開発  
株式会社山本清掃  
株式会社壘芥センター  
株式会社西日本アチューマツトクリーン  
株式会社倉敷環境  
株式会社富士クリーン  
株式会社布施興業  
株式会社木下カンセー  
近畿環境保全株式会社  
甲陽興産株式会社  
三光株式会社  
三友プラントサービス株式会社  
山陽美業株式会社  
新日本開発株式会社  
西播環境整備株式会社  
中国特殊株式会社  
田中石灰工業株式会社  
東広商事株式会社  
浜田化学株式会社  
福岡金属興業株式会社  
木村工業株式会社  
有限会社平塚商事

アースサポート株式会社  
エコシステム山陽株式会社  
オオノ開発株式会社  
コスモ・エージェンシー有限公司  
ホームケルン株式会社  
ユニクル株式会社  
安田産業株式会社  
株式会社Green prop  
株式会社アース・コーポレーション  
株式会社アクトリー  
株式会社イボキン  
三和技研工業株式会社

企業数 52社  
(会員数 93名)

株式会社ヴァイオス  
株式会社エコパレット滋賀  
株式会社エム・アール・シー  
株式会社オガワエコノス  
株式会社カンサイ  
株式会社サンエム  
株式会社ダイカン  
株式会社パブリック  
株式会社ブランテック  
株式会社まつえ環境の森  
株式会社マルシン  
株式会社横山サポートテック  
株式会社吉田穂商店  
株式会社吉本興業  
株式会社鳳栄商会

# はじめに (西日本ブロックにおける過去からの取組)



平成28年度の取組・方向性は、幅広く活用できる方向性で議論した。

# はじめに (経緯)



## 平成27年度の取組内容

子供たちに選んでもらえる職業にしたい!

- ・啓発活動の必要性
- ・環境教育の必要性
- ・知名度の向上
- ・優良事業者のアクション
- ・産廃業界と他業界の接点強化

香川県で環境学習を実施



「環境教育」「廃棄物業界の地位向上」など  
パッケージングした取組

成果として  
形を残したい。

「信頼を得られる」

業界全体の評価向上に繋がる

# 目的



## 環境学習の実施

- ・ 環境学習実施地域の調査
- ・ 地域を考慮した環境学習計画
- ・ 身近に感じるための工夫

環境学習実施内容  
成果物

産業廃棄物処理業の強みを活かす！

## 環境分野への意識向上

- ・ 家庭内外による談話のきっかけ
- ・ 廃棄物を通じての取組や活動

## 廃棄物業界への興味関心

- ・ 報道、記事等への関心
- ・ 環境分野における興味
- ・ 環境政策への興味

## 廃棄物業界の発展

- ・ 廃棄物イメージの変換
- ・ 業界全体の地位向上

現状よりも更なる信頼の獲得に繋がっていく。

# 実施内容



## 《環境学習 1回目》

平成28年10月11日（火） 京都府京都市内小学校 対象5年生 94名

環境学習テーマ 「環境問題について考えよう！」

経営塾OB会員 西日本ブロック参加人数 10名

## 《環境学習 2回目》

平成28年12月 5日（月） 兵庫県赤穂市内小学校 対象4年生 55名

環境学習テーマ 「身近なごみから考えよう！」

経営塾OB会員 西日本ブロック参加人数 7名

## 《環境学習 3回目》

平成29年 1月31日（火） 大阪府茨木市内小学校 対象5年生 49名

環境学習テーマ 「身近なごみから考えよう！」

経営塾OB会員 西日本ブロック参加人数 2名

# 実施内容（環境問題バージョン）



## ★学習のねらい

社会的事象や廃棄物等に起因する様々な環境問題について、ゲスト（廃棄物処理業者）を交えて共に話し合い探求することにより、具体的な環境問題について考える力を高めることができる。

### ① 授業担当者の自己紹介

- ・ 学習の概要及びやることを説明する。

《児童の緊張感をほぐせるように！》

### ② 環境問題を用いたクイズ

- ・ 授業する内容の理解力を促すため。

例 Q. 今、地球上では砂漠がどれくらいあるでしょうか？  
A. 全体の約1/4 【日本約95個分:36億ha】



# 実施内容（環境問題バージョン）



## ③ 環境に関する問題の抽出作業

グループ内で、環境分野についての問題や課題のヒントを提供しながら、時間の許すかぎり、環境に関する問題をたくさん出しあって貰い、準備した付箋に書き出していく。

《児童が思いつかないときは、助言及びサポートを行い、児童たちの自由な意見を尊重する》

## ④ 環境に関する問題の分別作業

グループ内で、抽出した環境に関する問題を分野ごとに分けていく。

《児童が思いつかないときは、助言及びサポートを行い、担当者は導いていく》

# 実施内容（環境問題バージョン）



## ⑤ 環境に関する問題の解決方法となる思案

グループ内で、その中の環境に関する問題または、課題のひとつだけを取り上げて、どんなことをすれば解決できるのかを話し合う。

《児童が思いつかないときは、助言及びサポートを行い、児童たちの自由な意見、発想を尊重する》

## ⑥ 考えた内容の発表

## ⑦ 担当者からのまとめ

グループ単位で、発表を行い実践力に結びつけてもらう。  
《発表児童たちの必ず良い箇所を褒める》

# 実施内容（身近なごみバージョン）



## ★学習のねらい

学校で発生するごみと家庭から発生するごみを、どのような工夫を実施すれば、減らせるのかをゲスト（廃棄物処理業者）を交えて共に考えることにより、より具体的に実践力を高めることができる。

地域の廃棄物処理現状と未来を楽しく学び、具体的に考える力も身に付ける。

### ① 授業担当者の自己紹介

### ② 環境学習の概要説明

- ・ 児童との距離感を縮める。  
《児童の緊張感をほぐせるように！》

- ・ 学習の概要及びやることを説明する。  
《簡単に分かりやすく説明する》

# 実施内容（身近なごみバージョン）



## ③ きっかけをつくる。

環境クイズを 1問なげかけ、担当者とともに考えてもらう。  
（環境クイズは、選択方式とする。）

クイズ1 ○○市は、1日1人あたりどのくらいのごみを  
だしていると思いますか？

## ④ 身近なごみの抽出作業

グループ内で、学校、家庭のごみについて時間の許すかぎり、  
たくさん出しあって貰い、準備した付箋に書き出していく。

《児童が思いつかないときは、助言及びサポートを行い、  
児童たちの自由な意見を尊重する》

# 実施内容（身近なごみバージョン）



## ⑤ きっかけをつくる。

環境クイズを 1問なげかけ、担当者とともに考えてもらう。  
（環境クイズは、選択方式とする。）

クイズ2 ○○市は、何種類に分別されていますか？

## ⑥ 身近なごみの分別作業

グループ内で、抽出したごみを地域で決められた種類ごとに分けていく。

≪児童が思いつかないときは、助言及びサポートを行い、  
担当者は導いていく≫

# 実施内容（身近なごみバージョン）



## ⑦ きっかけをつくる。

環境クイズを 1問なげかけ、担当者とともに考えてもらう。  
（環境クイズは、選択方式とする。）

クイズ3 ○○市は、5年後に、1日1人あたりどれくらい減らすことを目標にしていますか？

## ⑧ 再資源化などの説明

分別したごみを減らしたり、リサイクルするためのことを担当者が説明資料を用いて、グループ内単位で簡潔に説明を行う。

《分かりやすく簡潔に話すこと》

# 実施内容（身近なごみバージョン）



## ⑨ 児童が取組めることを考える

分別したごみを減らしたり、リサイクルするためにどのようなことを実施したら目標を達成できるのかを担当者とともに考え、グループ内でまとめる。

《児童が思いつかないときは、助言及びサポートを行い、児童たちの自由な意見を尊重する》

## ⑩ 考えた内容の発表

グループ単位で、発表を行い実践力に結びつけてもらう。

《発表児童たちの必ず良い箇所を褒める》

# 調査結果 (アンケート方法)



序生用

環境教育に関するアンケート

○年 名前 \_\_\_\_\_

＜環境教育受ける前＞

1. 将来の夢は何ですか。当てはまるものに○を付けてください。

スポーツ選手	医師・看護師など(医療関係者)
学校の先生など(教育関係者)	お菓子屋・料理人
研究者	漫画家・イラストレーター
宇宙飛行士	公務員
自然環境に関わる人	その他 ( )

2. 廃棄物(ごみ)処理業者へのイメージはどのようなものですか。当てはまるものに○を付けてください。

こわい	清けつ感がない	きつそう
関わりたくない	態度が悪い	よくわからない
かっこいい	力持ち	楽しそう
明るい	明るい	まじめそう
その他 ( )		

---

＜環境教育受けた後＞

1. 本日の環境学習はどうでしたか。

おもしろかった	勉強になった	また聞きたい
家族や友達に話したい	むずかしかった	知っていた
おもしろくなかった		

2. 環境学習を受けて、廃棄物(ごみ)処理業者へのイメージはどのようにになりましたか。当てはまるものに○を付けてください。

こわい	清けつ感がない	きつそう
関わりたくない	態度が悪い	よくわからない
かっこいい	力持ち	楽しそう
明るい	明るい	まじめそう
その他 ( )		前と変わらない

◎本日の感想

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

アンケート対象 149名

(内5年生 94名)  
(内4年生 55名)



## 【目的】

環境教育を受ける前後のイメージでどのように変化するかを調査

環境学習のねらいが児童たちに響いているかを調査

現状における将来の夢について調査



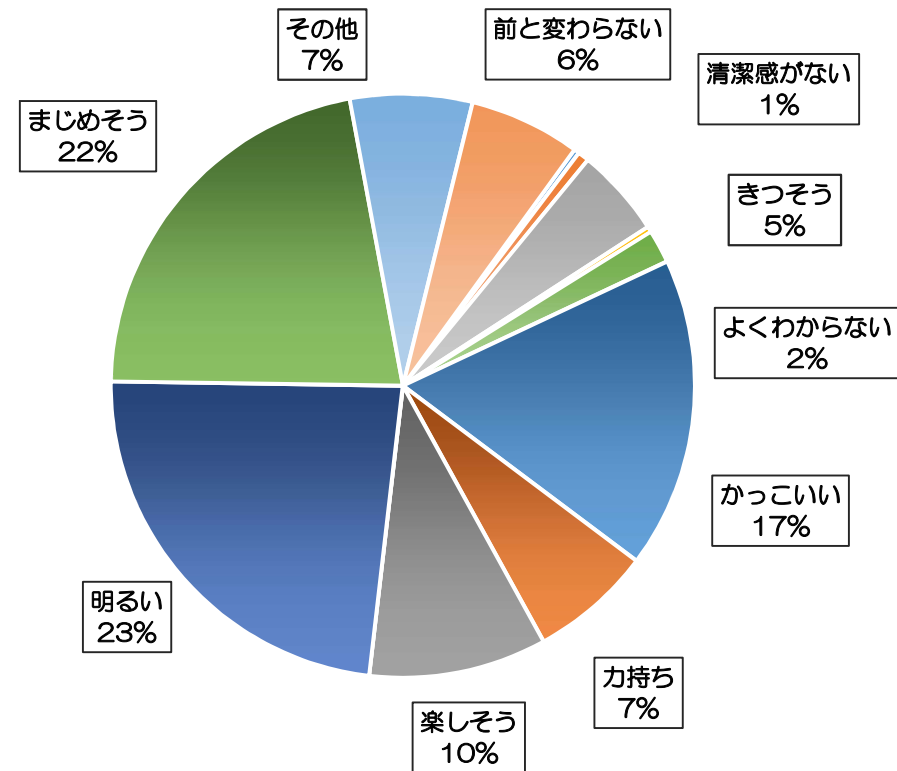
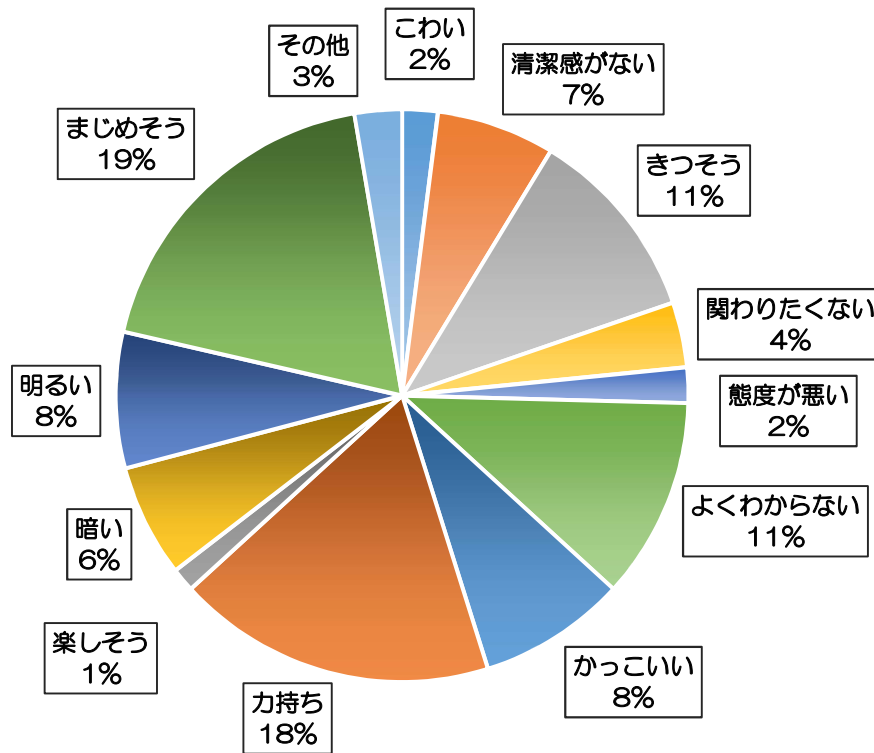
# 調査結果 (アンケート結果)



## 環境学習実施前



## 環境学習実施後



「まじめだけどきつくてよくわからない力仕事」

- 1・まじめそう (19%)
- 2・力持ち (18%)
- 3・よくわからない、きつそう (11%)



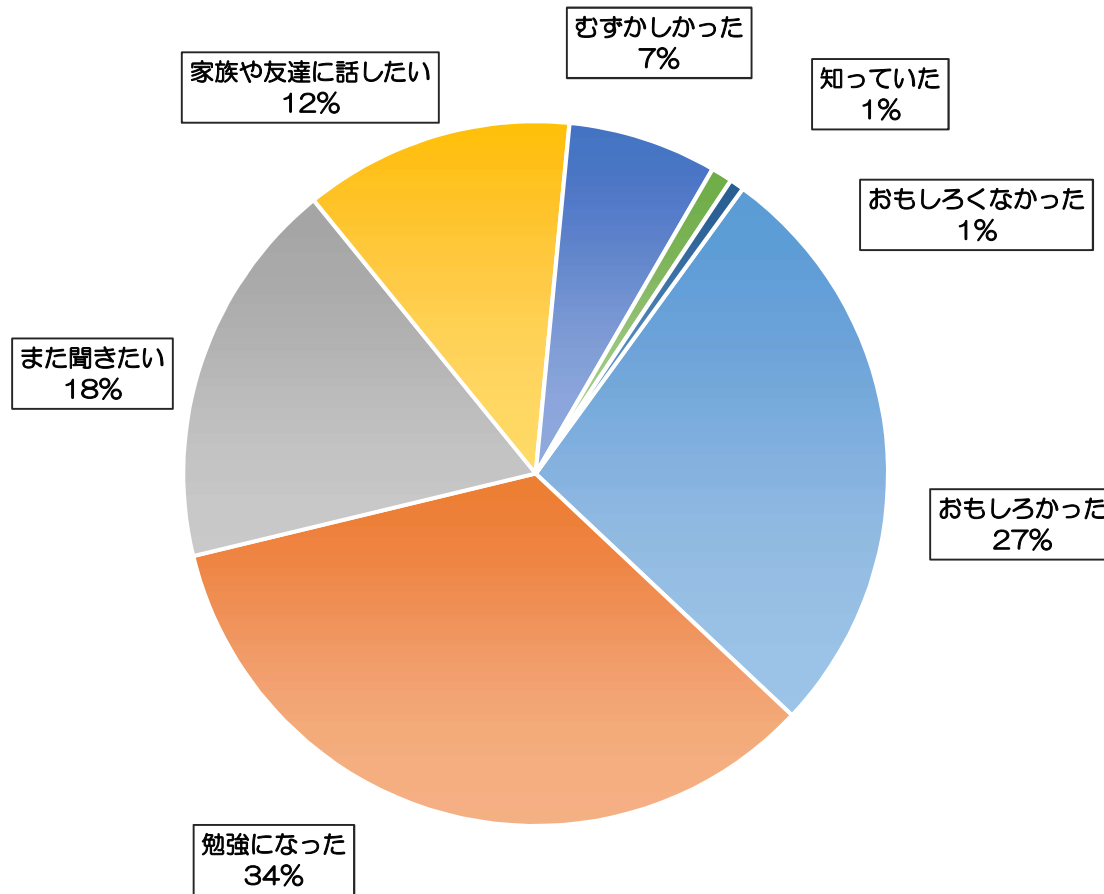
「明るくてまじめでかわいい仕事」

- 1・明るい (23%)
- 2・まじめそう (22%)
- 3・かわいい (17%)

# 調査結果 (アンケート結果)



## 環境学習を受けての結果



ポジティブな回答が多い  
(91%)



児童に前向きな影響を与えた



目的の達成



《むずかしかった、知っていた、おもしろくなかった》  
を除く91%もの回答が児童に前向きな影響を与えたことを確認できた。

# 成果報告（環境学習内容モデル 中学年用）



## 前提条件

- ・グループワーク形式による学習
- ・模造紙、付箋などを取り入れて活動できる場を与える学習
- ・環境クイズ（地域を特定したクイズ）を取り入れた学習
- ・産業廃棄物処理業界関係者の参加



授業担当者の自己紹介  
（環境学習の概要説明）

### 環境問題 ver.

- ② 環境問題を用いたクイズ
- ③ 環境に関する問題の抽出作業
- ④ 環境に関する問題の分別作業
- ⑤ 環境に関する問題の解決方法となる思案
- ⑥ 考えた内容の発表

### 身近なごみ ver.

- ③ きっかけをつくる。
- ④ 身近なごみの抽出作業
- ⑤ きっかけをつくる。
- ⑥ 身近なごみの分別作業
- ⑦ きっかけをつくる。
- ⑧ 再資源化などの説明
- ⑨ 児童が取組めることを考える

担当者からのまとめ

# 再実施（身近なごみバージョン）



## 前提条件

- ・グループワーク形式による学習
- ・模造紙、付箋などを取り入れて活動できる場を与える学習
- ・環境クイズ（地域を特定したクイズ）を取り入れた学習
- ・産業廃棄物処理業界関係者の参加

- ・NPO法人、市役所職員の参加による学習
- ・担当者が少人数型のタイプ

NPO  
の参加

市役所職員  
の参加

## 【結果】

- ・想定通りに学習の進行
- ・児童たちの活発な意見
- ・先生などからの好評価を頂く
- ・職員等と合同ですることによりさらに内容が深まる

# まとめ（今後の課題など）



学校数から  
比較しても  
実施数が  
少ない

## 環境学習の実施

中学生・高校生  
大学生  
などを対象

環境学習実施内容  
成果物

産業廃棄物処理業の強みを活かす！

環境分野への意識向上

地域への  
対応

廃棄物業界への興味関心

廃棄物業界の発展

# まとめ (提案)



## 《優良さんぱいナビを用いたポータルサイト運営による相乗効果の提案》

